



年 組 名前

道新でワークシート

スプレー缶 来月から穴開け不要

収集「可燃ごみの日」に

札幌市は7月から、使用済みスプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどのごみ収集について、市民のごみ出しの方法を変更する。缶に穴をあける必要はなくなる。収集日は回数を増やすため、これまでの「燃やせないごみの日」から、「燃やせるごみの日」に変える。市は収集時の火災発生を防ぐため、ガスは使い切るな

どのごみ出しルールの徹底を呼び掛けている。これまでのごみ出しは、缶に残留したガスによる火災を防ぐため、穴を開けて出すルールだった。しかし、缶の穴開け作業中にガスが引火したとみられる火災が2014年、15年と市内で相次いで発生し、計3人が死亡したことから、穴開け不要で収集することにし

札幌市が変えるスプレー缶類の収集方法

現在



透明の袋に入れてごみステーションに出す

収集日は4週に1回の「燃やせないごみの日」

変更後



収集日は週に2回の「燃やせるごみの日」

た。

また収集日は、一度に大量の缶が出されないよう、回数を増やし、これまでの4週に1回の燃やせないごみの日から、週2回の燃やせるごみの日に出してもらうことにした。

ただし缶の中身を使い切ることと、使用済みの缶は他のごみと分別して、透明または半透明の袋に入れて出すルールは変わらない。ガスが残ったまま出されると火災の恐れがあり、市はごみ出し方法の変更に合わせて、収集車の外側にスプレー缶類の専用かごを設けて車両内部での火災発生を防ぐ。

市は「作業員や市民を危険にさらすことになる。収集車は1台1400万円と高額で、ルールは必ず守って」（環境局）と呼び掛けている。

（小林史明）

2017年6月29日朝刊札幌市内版（記事は再編集しています）

①札幌市では7月から、スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどのごみの収集が、どのように変わりましたか。

②あなたの住んでいる地域では、ごみの分別方法はどのようになっていますか。調べて書きましょう。